

おきなわサンゴ礁ウィーク 2014 実施要領

1 趣旨

サンゴ礁は多様な生物を育むとともに、波浪から海岸を守る防波堤として、観光産業や漁業の重要な資源として、そして、歴史や文化の基礎をにない、安らぎや憩いの場として、多くの恩恵を島に住む私達に与えています。サンゴ礁は、沖縄の人々にとって大切な宝であり、健全なサンゴ礁を次の世代に引き継いでいくことは島の住人としての努めです。

しかしながら、沖縄のサンゴ礁は、沿岸域の開発や埋め立て、オニヒトデの異常発生、赤土の流入、排水による水質汚染、高水温による白化現象などにより広範囲な影響を受け危機に瀕しています。

このようななか、県内では様々な分野の皆様がサンゴ礁の理解を深め、その保全・再生に長年に亘って取り組んできました。これらの様々な取り組みは、世界規模での生物多様性の保全の側面はもちろんのこと、観光資源や漁業資源の持続的な利用、私達の文化や生活の多様性の維持増進といった、地域の将来に関わる大切な活動です。

石垣市では、2011年から、地域が主体となり3月5日（サンゴの日）の前後一週間をサンゴウィークとし、サンゴ礁の保全・エコ/グリーンツーリズムの普及や次世代の人材育成などを含む幅広い活動を展開しています。沖縄県サンゴ礁保全協議会は、沖縄県内外のこのような活動の連携を深め、地域の活動を支援し、サンゴ礁生態系の保全をさらに推進するために2008年に設立され、地域の会員を主体に様々な活動をしてきました。そこで当協議会は、石垣市で取り組まれている活動を沖縄県全体に広げ、多くの県民の参加のもと、これらの活動が相互に繋がりをもち、サンゴ礁を大切にす県民の心を育むことを目的として、3月5日を含む一週間を「おきなわサンゴ礁ウィーク」とし、様々な主体によるサンゴ礁保全・再生への参加を呼びかける週間とします。

2 実施主体

- (1) 主催 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会
- (2) 共催 環境省、沖縄県、その他イベントを実施する団体
- (3) 後援 マスコミ各社、ダイビング雑誌
- (4) 協賛 日本サンゴ礁学会(予定)他、各種団体

3 実施期間

平成26年3月1日（土）～3月9日（日）まで

4 実施事業の概要(検討中の案) …… 協議会による「場」の提供

※予定イベントの日程については、変更になる可能性がございますので、あらかじめ御了承ください。

(1) イベントの開催

予定1 「アラムコ事業の発表会(仮題)」(協議会+沖縄県)

日程 : 3月2日(日)の午後、県立博物館1F講座室を仮予約
内容 : 基調講演とパネルディスカッション
ねらい : サンゴ礁保全に関わる人達と市民をつなぐ
⇒将来的に、編纂・印刷物の制作により広く配布
対象者 : 一般市民、サンゴ礁保全・研究関係者
集客目標 : 100名程度

予定2 「オニヒトデワークショップ(仮題)」(沖縄県+協議会)

日程 : 3月5日(水)の午後、県立博物館1F講座室を仮予約
内容 : AIMSの講演会と各地のオニヒトデ対策の意見交換
ねらい : ダイビング組合等の保全活動関係者のネットワークづくり
対象者 : ダイビング事業関係者、漁協、コンサルタント
集客目標 : 50名程度

予定3 「慶良間諸島国立公園指定イベント(仮題)」

日程 : 3月上旬(予定)
内容 : 国立公園指定の記念行事
ねらい : 慶良間諸島国立公園の周知と広報
対象者 : 関係者及び一般市民、観光客

予定4 協議会会員及び共催団体によるイベント

日程 : 3月1日(土)から9日(日)までの間に実施。
内容 : 会員や共催団体が主催する参加型のイベント、主催者が独自に行うものとし、希望する者・団体は12月15日までに別紙様式にて事務局に提出のこと。提出されたイベントについては、協議会がポスターやウェブサイトで広報する。また、県立博物館・美術館の展示室(子どもアトリエ、県民アトリエ)、エントランスホールを確保しているので、希望者はこれらのスペースを活用可能。
ねらい : 誰でも気軽に参加できるイベントによるサンゴ礁への感心喚起
対象者 : 買い物客、家族連れ、職場の仲間、観光客、保全関係者など